

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

第7期介護保険事業計画に記載の内容				H30年度(年度末実績)			
区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策	
①自立支援・介護予防・重度化防止	<p>【現状】 要介護認定率(H30.3月末現在)21%で、全国平均(18%)、青森県平均(18%)共に上回っている。また、認定者の85%を75歳以上が占めており、後期高齢者が圧倒的に多くなっている。</p> <p>【課題】 健康や介護予防への意欲に乏しく、特に冬場は閉じこもりぎみになる高齢者もあり、結果、後期高齢者になってから要介護状態になると推測されるが、自らすすんで体操や運動を継続して行う場が無いため、集いの場づくりをすること。</p>	<p>住民自ら集う場を作り、積極的に活動できるよう整えるため、まずは現状の行政主導で開設している、サロン内容について利用者から意見を募り、利用者自身で考えてもらうようにし、行政主導から利用者主導にシフトチェンジすることで、住民主体のサロン開設をスムーズにできるよう整える。</p> <p>その後、既存のサロン内で学んだ利用者を軸とした、住民主体の地域サロンを開設する。</p>	<p>・平成29年度 全実施回数 46回 うち行政主導 46回 うち住民主導 0回</p> <p>・平成30年度 全実施回数 40回 うち行政主導 10回 うち住民主導 30回</p> <p>・平成31年度 全実施回数 45回 うち行政主導 5回 うち住民主導 40回</p> <p>・平成32年度 全実施回数 45回 うち行政主導 0回 うち住民主導 45回</p>	<p>住民主体サロン 設置箇所数 0カ所 参加者数 0名</p> <p>住民主体サロン 設置箇所数 1カ所 参加者数 10名</p> <p>住民主体サロン 設置箇所数 2カ所 参加者数 20名</p> <p>住民主体サロン 設置箇所数 3カ所 参加者数 30名</p>	<p>・既存サロン開設日に、サロンでやりたい事、挑戦してみたい事を利用者に聞きとりし、発案させた。→2回実施。</p> <p>・発案内容を精査し、サポートが可能なものについて厳選して実施した。→26回実施。 利用者目線のサロンとなった為か、利用者実人数及び延べ人数ともに増加となった。 実人数前年比 →13名増 延べ人数前年比 →327名増</p> <p>・住民主体の地域サロン開設の必要性について、社会福祉大会や地区へプレゼンした。→3回実施。 ・地域サロン設置箇所→0カ所</p>	△	<p>【課題】 ・住民には、リーダーとなる人がいなければ地域サロンの立ち上げはできない、あるいは継続できないというイメージがある。</p> <p>・既存サロンは前年度より充足感があるものの、行政のサポート量はまだまだ多い。会場のセッティングや後片付け、体操の誘導など、自ら行えるよう工夫の余地がある。</p> <p>【対応策】 ・地域サロンの立ち上げについては、リーダーは必須ではない事や行政がしっかりとサポートしていく事、利用者同士で役割分担をすれば、特定の人に負担がかからないなど、丁寧に説明することが必要。 ・既存サロンについては、行政側から手伝いを促したり、利用者間で役割分担してもらうなど、新規サロン立ち上げのモデルとなるよう工夫する。</p>
②給付適正化	<p>高齢化の進展に伴い、介護給付等に要する費用の増大が見込まれる。</p> <p>介護給付等に要する費用の適正化を図るとともに、利用者本位の質の高い介護サービスが提供されるようにする必要がある。</p>	ケアプランの点検	<p>ケアプラン点検数 (H30) (H31) (H32) 40 50 60</p>	<p>青森県のアドバイザー派遣事業を活用したケアプラン点検数:3</p> <p>福祉用具購入や住宅改修の審査時におけるケアプラン点検数:10</p> <p>ケアプラン点検数 合計 13</p>	△	<p>県からのアドバイザー派遣により、ケアプラン点検の流れを学ぶことができたが、開催時期が遅かったため目標数には至らなかった。</p> <p>今後は、村独自で点検を行えるよう、担当職員の研修等を行う必要がある。</p>	